

# いずも I Z U M O 市議会だより

2012.11.20

No.30

編集／広報委員会  
発行／出雲市議会



## さしむ 佐志武神社の例大祭(湖陵町差海)

「神事華」と呼ばれる直径5メートル、重さ約200kgの花傘が、毎年10月18日・19日に「神事舞」とともに神社に奉納されます。400年以上の伝統があり、出雲市無形文化財に指定されています。



○議会の動き……………	2
○委員会報告……………	3
○請願・陳情・意見書……	6
○一般質問……………	8
○行政視察報告……………	20
○採決の結果……………	20
○議会活動・編集後記……	24

平成24年度

# 第3回出雲市議会（定例会）会期日程

**開会** 平成24年(2012) 8月30日(木) **閉会** 平成24年(2012) 9月27日(木) 会期29日間

8月30日(木)	本会議（開会、議案上程・説明）	9月13日(木)	環境経済委員会
9月4日(火)	本会議（一般質問・1日目）	14日(金)	建設水道委員会
5日(水)	本会議（一般質問・2日目）	18日(火)	予算特別委員会
6日(木)	本会議（一般質問・3日目）	20日(木)	決算特別委員会（1日目）
7日(金)	本会議（一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託）、決算特別委員会	21日(金)	決算特別委員会（2日目）
11日(火)	総務委員会	24日(月)	決算特別委員会（3日目）
12日(水)	文教厚生委員会	27日(木)	本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）

## 9月定例市議会 報告

平成23年度（2011）出雲市一般会計歳入歳出決算を認定するなど、43議案を議決しました。

### 議会の動き

9月定例市議会では、執行部から40件の議案が提案されました。

そのうち、「平成23年度（2011）出雲市一般会計歳入歳出決算認定について」などの決算議案22件について、適当と認め、認定しました。

そのほか、「平成24年度（2012）出雲市一般会計第3回補正予算」などの予算議案6件、「出雲市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例」などの条例議案7件、「備品の取得について（消防ポンプ自動車）」などの一般議案3件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事議案1件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決または同意しました。

また、「平成24年度（2012）出雲市一般会計第2回補正予算」の専決処分については、承認しました。

議員提出議案としては、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「地球温暖化対策に関する『地方財源を確保・充実する仕組み』の構築を求める意見書」及び「竹島の領土権確立に向けた対策の強化を求める意見書」の3件を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

# 常任委員会報告

## 総務委員会

### 「地方財政の充実・強化を求める 意見書の提出を求める請願」採択

議案4件、請願1件、陳情2件について審査しました。

議案30号「備品の取得について」は、出雲市消防本部車両等整備計画に基づき、本年度更新予定の消防ポンプ自動車2台を購入することについて、議会の議決を求めるものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。

請願第7号「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願」は、被災自治体に対する復興費について、国の責任において確保

し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を講ずること。また、今後増大する財政需要を的確に取り入れ

2013年度地方財政計画を策定し、地方交付税総額を確保することや、小規模自治体に配慮した再分配機能の強化、国税5税の法定率の改善、社会保障分野の単位費用の改善、国の直轄事業負担金の見直しなどの抜本的な対策を進めるための、意見書の提出を求めるものです。

審査の結果、採択しました。

## 文教厚生委員会

### 市民に身近な医療・福祉の案件などを審査

議案第25号「出雲市休日診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を審査しました。

今まで休日診療所は、休日の診療

に加え、水曜日を除く平日夜間の診療も行ってきましたが、この度、水曜日も夜間診療を行うこととするものです。このことにより休日診療所



は月曜日から金曜日まで切れ間なく行うことにより、一次救急の一層の充実を図るため、所要の条例改正を行うものです。

審査の結果、原案のとおり可決しました。

次に、継続審査中の陳情第2号「認知症対応型共同生活介護事業所（認知症グループホーム）における低所得者への負担軽減事業の実施に関する陳情」は、認知症グループホームの利用者にも、特別養護老人ホームなどの利用者と同様な、低所得者への負担軽減事業の速やかな実施を出

## 環境経済委員会

### 農業振興策に対する陳情採択

陳情第8号「出雲市農業振興施策確立に関する陳情」は、農家の後継者や新たな担い手の育成・確保のため

の事業への予算措置や市独自の厚い支援、用排水路の早期改修や排水ポンプなどの機械の拡充など農業生産環境の整備と保全対策の推進、病害虫防除のための出穂期前の適期除草、有害鳥獣被害防止対策の支援の拡充・強化ならびに出雲そば生産振興への重点支援について、市の支援を求めるものです。

雲市に求めるものです。  
審査の結果、採択しました。



出雲休日・夜間診療所（塩冶善行町）

また、市から国や県及び関係機

関に対し、TTPPへの不参加、戸別所得補償制度の法制化、担い手の育成・確保に関する制度への予算措置、農業経営基盤強化準備金の課税特例措置の延長、畜産経営安定対策のための各種事業の継続や予算措置、農業生産環境の整備と保全対策のための予算措置ならびに出穂期前の除草について、働きかけあるいは要請を求めるものです。  
審査の結果、採択しました。

建設水道委員会

交差点改良整備の陳情を採択

陳情第9号「市道今市川跡日下線 荻籽交差点付近の改良整備促進についで」の陳情は、荻籽町の荻籽交差点付近の今市川跡日下線について、交通量が多く、著しい渋滞状況にあり、2年後に予定されている国道431号バイパス及び同路線の稲岡から日下間の開通により、さらに渋滞が予想されることから、同交差点の改良整備を求める陳情です。

の中で、交差点の渋滞解消を図るよう支援すべきなどの意見がありました。審査の結果、採択しました。なお、一部の委員から趣旨採択すべきとの意見がありました。



陳情者から荻籽交差点で説明を受ける

現地視察を行い、陳情者から説明を受け審査しました。複数の委員から、この交差点の整備は、緊急を要するもので、次期幹線市道整備10か年計画作成中での検討では遅いことから、速やかに調査費を予算計上し、調査を行うべきとの意見。また、今後予想される国道431号バイパスや県道矢尾今市線の開通など、国道網の構築

特別委員会報告

予算特別委員会

7月豪雨災害復旧に5億5060万円補正

9月定例会では、議案一覧表(下表)の補正予算7件について、9月18日に委員会を開催し、審査を行いました。

承第5号及び議第17号の一般会計補正予算では、主なものとして、7月豪雨による土砂の撤去など早急に対応が必要な経費や国の災害査定に必要な測量・調査・設計を行う経費、農地・農業用施設・林道・道路・河川の被害にかかる復旧工事費に5億5060万円、介護保険施設・障がい者福祉施設・認定子ども園の整備にかかる補助金2億5719万円、感染症対策事業の不活化ポリオワクチンへの切替え経費7500万円、住宅用太陽光発電システム設置費補助金の追加1600万円、北山山地の枯損木・危険木を伐倒する松くい虫対策事業に6300万円、中山間地域での移動販売や空き店舗への出店などを支援する商店街活性化支援事業1450

予算特別委員会付託議案一覧表

議案名	補正予算額
承第5号 専決処分の承認について (平成24年度出雲市一般会計第2回補正予算)	1億3,240万円
議第17号 平成24年度出雲市一般会計第3回補正予算	12億6,800万円
議第18号 平成24年度出雲市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算	4億7,900万円
議第19号 平成24年度出雲市介護保険事業特別会計第2回補正予算	6,600万円
議第20号 平成24年度出雲市下水道事業特別会計第2回補正予算	2,290万円
議第21号 平成24年度出雲市風力発電事業特別会計第1回補正予算	1,300万円
議第22号 平成24年度出雲市水道事業会計第1回補正予算	3,522万8千円

万円、ゆかり館への木質チップボイラー導入費8100万円、新内藤川・赤川改修関連道路改良事業1億3150万円などです。

審査の結果、いずれも原案のとおり承認または可決しました。なお、認定子ども園の制度に対して、一部の委員から反対の意見がありました。議第18号から議第22号の特別会計及び企業会計補正予算については、

審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

この結果、一般会計は、14億40万円増の794億8440万円に、特別会計の合計は、5億8090万円増の478億3322万5000円に、水道事業会計は、3522万8000円増の48億1959万7000円となりました。

決算特別委員会

決算審査を生かして改善を

本定例会では、決算特別委員会を3日間開催し、「平成23年度出雲市一般会計歳入歳出決算認定」をはじめ22件の決算案件について、審査を行いました。

平成23年度の決算概要は、一般会計と特別会計を合わせた総額が、歳入1263億4000万円、歳出1236億7000万円でした。起債残高は、前年度に比べ62億1000万円減少していますが、2199億円となっており、依然として多額です。「実質公債費比率」は21.4%、「将来負担比率」は237.7%と依然として高く、引き続き注視していく必要があります。「財政力指数」は

0.485、「経常収支比率」は91.1%となっており、財政基盤が弱く、弾力性に欠けているといえます。財政状況は決して良好とはいえない状態にあります。

決算審査の結果は、一部の委員から不認定とすべきとの意見が出された案件がありました。本委員会としては、すべての案件について認定しました。

今回の委員会では、各委員から出された様々な意見をふまえ、委員長として感じたことのうち2つを記しておきたいと思えます。

まず市職員は、公明正大な姿勢を常に保たなければならないという点

です。審査の中で、実態と差異がある資料・説明がありました。誇りと自信を持って事業を実施し、その内容は正確で誠実に明示しなければなりません。

次に、事業の整理・精査の問題です。2市4町の合併から7年が経っています。まだまだに精査が不十分で事業の体系的な整理がされていない

点に認められました。結果として、全体的な位置づけが不明瞭で、効率を損ない、必要性・公平性に疑義が生じる一因となっています。前例踏襲的に仕事を続けるのではなく、担当職員は一つ一つの事業内容を十分理解し、常に問題意識を持ち、その改善に向けて行動しなければなりません。

実質公債費比率

標準的な財政規模に対する公債費の財政負担の程度を示すもの。18%以上となると起債にあたり許可が必要となり、25%以上の団体については、一定の地方債の起債が制限されることも、「財政健全化計画」の策定が義務付けられる。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準的な財政規模に対する比率で、この負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すストック指標となるもの。350%以上の団体については「財政健全化計画」の策定が義務付けられる。

財政力指数

地方公共団体の財政力の強弱を表す指標のこと。指数が高いほどその団体は財源に余裕があると言える。平成22年度決算における島根県内の市町村平均は0.385、全国の市町村平均は0.53。

経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を表す指標のこと。比率が低いほどその団体は財政にゆとりがあつて、その団体独自の施策に使える財源があると言える。平成22年度決算における島根県内の市町村平均は88.1%、全国の市町村平均は89.2%。

## 請願・陳情の審議結果

### 【請 願】（今回提出された請願）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
5	2013年度（平成25年度）私立認可保育所関係予算等についての請願	出雲市大津町 出雲市認可保育園理事長会 会 長 原 成 充 他1名	<b>採 択</b> に 賛成多数
6	協同組合出雲ショッピングセンター「デパートパラオ」の跡地・空き店舗活用による中心市街地再生支援の強化を求める請願	出雲市大津町 出雲商工会議所 会 頭 江 田 小 鷹	<b>採 択</b> に 全員賛成
7	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	出雲市今市町 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員連合労働組合 執行委員長 岸 道三	<b>採 択</b> に 全員賛成
8	「子ども・子育て新システム」に反対し、子育て支援の充実を求める請願	出雲市所原町 全国福祉保育労働組合島根支部 執行委員長 成相 皆人	<b>不採択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	請願者が「子ども・子育て新システム」に反対する理由としている、修正前の仕組みが依然として残っていることなどに対する懸念については、今後実施主体の市が策定する計画が重要となり、本市においては、国の状況を注視し、子どもの最善の利益を基本とした計画策定に取り組む考えがあるため。	

### 【陳 情】（継続審査中の陳情）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
平成 23年度 16	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情	松江市母衣町 原発ゼロをめざす島根の会 共同代表 責任者 舟木 健治 他5名	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	原発再稼働に向けた動きが各地で見られるが、本市においては、安全協定の内容について継続して協議を進めている状況であり、引き続き検討すべきであるため。	
平成 24年度 1	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情	出雲市塩冶町 出雲市自治基本条例を考える市民の会 松谷 仁造	<b>継続審査</b> に 賛成多数
	<b>なぜ継続審査</b>	出雲市自治基本条例については9月議会において提案されておらず、今後、提案された時点で、本陳情についても審議すべきであるため。	
平成 24年度 2	認知症対応型共同生活介護事業所における低所得者への負担軽減事業の実施に関する陳情	出雲市塩冶有原町 出雲地域認知症グループホーム連絡協議会 会 長 梶 谷 和 夫 他8名	<b>採 択</b> に 全員賛成

### （今回提出された陳情）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
3	農業用水並びに防火用水の確保に関する陳情	出雲市斐川町阿宮 下阿宮・上出西農業用水、防火用水 確保促進会 代表者 山 田 英 市	<b>採 択</b> に 全員賛成
4	県道木次直江停車場線の上出西道路の拡幅に関する陳情	出雲市斐川町出西 上出西地区斐伊川堤防拡幅促進会 代表者 池 田 陽 一	<b>採 択</b> に 全員賛成
5	第3子保育料の無料化の現行制度での継続と第2子保育料の半額化を求める陳情	出雲市芦渡町 平成24年度出雲市認可保育所（園） 保護者会連合会 会 長 内 田 学	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数
6	乳幼児等医療費助成制度拡充を求める陳情	出雲市芦渡町 平成24年度出雲市認可保育所（園） 保護者会連合会 会 長 内 田 学	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数

【陳情】（今回提出された陳情）

番号	件名	提出者	審議結果
7	現行の公的保育制度を堅持し子育て支援の充実を求める陳情	出雲市芦渡町 平成24年度出雲市認可保育所（園） 保護者会連合会 会長 内田 学	<b>不採択</b> に 賛成多数
	<b>なぜ不採択</b>	陳情者が「子ども・子育て新システム」に反対する理由としている、修正前の仕組みが依然として残っていることなどに対する懸念については、今後実施主体の市が策定する計画が重要となり、本市においては、国の状況を注視し、子どもの最善の利益を基本とした計画策定に取り組む考えがあるため。	
8	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 米原 稔 他1名	<b>採 択</b> に 全員賛成
9	市道今市川跡日下線荻杼交差点付近の改良整備促進についての陳情	出雲市荻杼町 北部活性化推進協議会 会長 佐野 祐治	<b>採 択</b> に 全員賛成

## 意見書の審議結果

【意見書】

番号	件名	審議結果
3	地方財政の充実・強化を求める意見書	<b>原案可決</b> に 全員賛成
4	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	<b>原案可決</b> に 全員賛成
5	竹島の領土権確立に向けた対策の強化を求める意見書	(修正案) <b>否 決</b> 賛成少数により
		(原 案) <b>原案可決</b> に 賛成多数

※意見書第5号については、一部の議員から修正動議が提出され、修正案と原案それぞれ審議しました。

### 請願・陳情を提出するときは

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となる必要がありますが、陳情は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。（ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。）

定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係（TEL 21-6579）にお問い合わせください。

◆提出時に留意していただきたいこと

- 必ず日本語で、次の点を記載してください。  
（内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号）
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願や陳情の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者（2人以上の場合は代表者）の氏名（名称）と住所（所在地）は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

書 式 例	
請願書（陳情書）	
年 月 日	
出雲市議会議員 様	
請願者（陳情者）	
代表者 住所	
氏名	印
電話	—
紹介議員	
氏名	印
○○○○○○○に関する請願（陳情）	
要旨	_____
内容	_____
	_____
	_____
	_____

# 市政のここが聞きたい 一般質問

9月定例会市議会では26人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

<b>山代裕始 議員</b>	(9ページ)
◎市長の市政運営について	
<b>遠藤力一 議員</b>	(9ページ)
・学校での脊柱側湾症検診の取り組み強化を図れ	
◎コンビニにおける証明書などの交付サービス実施の提案	
<b>川上幸博 議員</b>	(9ページ)
◎市内県河川の現状の改修計画で豪雨災害は防止できるのか	
・「人・農地プラン」について伺う	
<b>米山広志 議員</b>	(10ページ)
・学校教育用バス	
◎出雲市学校再編計画	
<b>勝部順子 議員</b>	(10ページ)
◎いじめ問題	
・出雲市生活・消費相談センターの役割	
・「障害者優先調達推進法」	
<b>坂根 守 議員</b>	(11ページ)
◎竹島問題にどう取り組むのか	
・国道9号線の歩道の草刈りの徹底を望む	
<b>保科孝充 議員</b>	(11ページ)
◎支所の活性化は福祉関係機関の集約から	
・スポーツ少年団の育成・支援について問う	
・水は命とする農業用水確保（下阿宮付近）の確保に全力を	
<b>板倉明弘 議員</b>	(12ページ)
◎中学校の武道必修化に伴う安全な指導体制について	
・小中学校の「いじめ」早期発見と対応策について	
<b>大場利信 議員</b>	(12ページ)
・児童生徒の学力向上と学校司書について	
・県への重点要望（出雲教育事務所管内に新たな特別支援学校を開設すること）について	
◎住宅リフォーム助成事業の継続について	
<b>曾田盛雄 議員</b>	(13ページ)
◎学校給食と食育を問う	
・LED電球の普及と利用促進を	
<b>珍部全吾 議員</b>	
・都市計画税について	
・長岡市政の3年数か月の姿勢を問う	
<b>大国陽介 議員</b>	(13ページ)
・「空き家」対策について	
◎子育て支援の充実を	
・堀川の遊漁船係留について	
<b>板倉一郎 議員</b>	(13ページ)
◎中海・宍道湖・大山圏域市長会について	
・出雲市の景気動向および今後の取り組みについて	

<b>多々納剛人 議員</b>	(14ページ)
◎子ども・若者総合支援事業について	
・災害時要支援者ネットワーク事業について	
・整備新幹線について	
<b>西村 亮 議員</b>	(14ページ)
◎少子化対策を問う	
<b>萬代輝正 議員</b>	(15ページ)
◎「選択校区制」の検証と今後の方向性は如何に	
・市民サービス向上に向け、今後どうする「支所機能」	
<b>狩野正文 議員</b>	(15ページ)
◎出雲市消防団再編計画に伴う施設、設備、装備等の内容について	
・手入れがされ整った地域環境となるための環境美化について	
<b>井上恵夫 議員</b>	(15ページ)
・水源の水質保全対策をどのように考えているか	
◎いりすの丘の活用は今後どのように考えているか	
<b>原 隆利 議員</b>	(16ページ)
・島根原発についての将来展望	
◎いじめと教育委員会	
・「出雲市版財政白書」の取り組み状況	
<b>木佐 宏 議員</b>	(16ページ)
◎長岡市長さんて、どんな方、こんな人	
<b>松村豪人 議員</b>	(17ページ)
◎少子化時代をどう乗り越えるか	
<b>小村吉一 議員</b>	(17ページ)
◎沿岸漁業（日本海）の振興を求めて	
・「証明書自動交付機」の廃止について問う	
<b>井原 優 議員</b>	(17ページ)
・大飯原発再稼働後の原発ゼロへの市長の政治姿勢について	
◎公民館（斐川地域）のコミュニティセンターの移行について	
・斐川地域での防災対策について	
・出雲いりすの丘公園の今後の活用について	
<b>伊藤繁満 議員</b>	(18ページ)
◎全国に誇れる築地松（屋敷林）と散居集落の保全対策	
・農業振興と都市計画との調整について	
<b>荒木 孝 議員</b>	(19ページ)
◎出雲市立小中学校再編方針について伺う	
<b>飯塚俊之 議員</b>	(19ページ)
◎空き家対策について	





## 市長の市政運営について 主要政策の評価と所感、市政担当の意欲

山代 裕始

**問** 今年、長岡市長の4年目の仕上げの年であり、市長が掲げた主な政策の視点を4点に絞り、その成果と市長の所感を問う。また、引き続き市政を担当する決意と意欲があるのか伺う。

**市長** 1点目として、出雲の真のブランド化はブランド化推進市民委員会を中心として、「大好き出雲」を合言葉に推進し、市民の間に広く浸透しつつあると感じています。またブランド商品認定制度も、まもなく動き出します。2点目として開かれた市政の実現では、市長ポストや市長面会日、新たに外部監査制度に取り組むなど多くの有意義な意見をいただき業務改善の

参考になりました。3点目として市の財政健全化は最重要課題であり、新たにゼロベース評価委員会を設けるなど成果をあげてきました。さらに、収納対策や総人件費の抑制など財政の健全化に全力を注ぐ考えです。4点目として産業振興では特に観光振興に積極的に取り組めます。また、昨年は企業の事業拡張などで200人の新規雇用と100億円の民間投資を達成することができました。さらに、誘致した医療系専門学校も来春開校します。

市長として、残りの任期を精一杯努める覚悟ですが、多くの市民の推挙がいただければ、引き続き市政を担当する意欲をもって出馬の決意をしたところです。



## コンビニでの証明書発行で 市民サービスの向上を

遠藤 力一

**問** 公明党議員団が、平成18年から要望してきたコンビニ納付が、来年度から実施される。市県民

税、固定資産税などを納付でき、利便性の向上、納付率も向上するものと期待されている。

今回はさらに市民の利便性を高める、コンビニでの証明書などの交付サービス実施について提案する。コンビニでの交付サービスは、2013年から利用可能店舗が全都道府県に広がり、参加自治体も大幅に増加すると見込まれている。

日曜日や、仕事に行く前や仕事帰りでも、証明書を取得できる。住民が必要なきに都合のいい場所でサービスを受けられ、自治体にとっては住民サービスを向上させられるほか、コスト削減の効果にもつながる便利な施策だ。

### 健康福祉部長

コンビニ交付は、住基カードを利用して、コンビニの端末機器で交付するものです。近年、国においてもコンビニ交付を推奨しています。

初期の導入経費が約2300万円、毎年の運営経費が約600万円、コンビニ事業者への委託手数料が、証明書1通あたり120円と

なっています。今後、費用対効果、市民への利便性ならびに窓口業務の合理化を検証して検討していきます。



総務省のパンフレット



## 現在の市内河川改修計画で 豪雨災害は防止できるのか

川上 幸博

**問** 一部地域を限定した集中豪雨が多発している。出雲市内において、7月に乙立観測所で、最

大時間雨量78ミリ、稗原では、累計時間雨量154ミリという非常に激しい雨を記録した。市内を流れる新

内藤川、赤川、午頭川は、斐伊川放水路事業に伴う内水排除事業として整備が進められているが、現状での改修整備で豪雨災害に対し防ぐことは可能なのか。また、現在の整備状況を伺う。

都市建設部長

新内藤川流域4河川の改修計画は、県において平成20年に策定された「斐伊川水系新内藤川流域河川整備計画」により、平成9年の洪水被害と同規模洪水が、発生した場合でも家屋浸水被害を防止することを目標に平成23年から32年までの10か年で改修が進められています。

現在、新内藤川では護岸工事、午頭川では落合橋の詳細設計、護岸工事など行っています。また、現計画以降の河川改修事業は、現在の整備計画を着実に進め、その目的が立ち次第、県に対し働きかけます。異常気象による豪雨に対し、河川整備の

計画規模やポンプの排水能力の検証は、河川改修の進捗状況を見ながら、今後、県と協議してまいります。



急ピッチで護岸工事が進む新内藤川下流部



出雲市学校再編計画は地元の同意で実施を

米山 広志

問

平成23年11月4日の全員協議会で、出雲市学校再編計画(素案)が提案された。

①再編計画(仮称)が9月議会で説明

予定とのことだが、その内容について。

②今後の予定について伺う。

教育部長

①今議会の文教厚生常任委員会及び最終日の全員協議会で、説明することにしております。その内容については、今しばらくお待ちをいただきたいと思っています。

②再建計画を議会で説明した後、10月以降になりますが、関係する学校の地元に出掛け、協議を開始します。

問

説明会で地区の皆さんの同意がない限りは、実施をしないということであるか。

市長

計画案を地元の皆さまに、一期間、協議、説明をした後、受け入れられないのであれば、実施はできないという認識です。



いじめ問題 子どもの視点で対応を

勝部 順子

問

滋賀県大津市で、市立中学2年生の男子生徒が飛び降り自殺した問題で、当初、教育委員会は、いじめと自殺との因果関係を不明とした。しかし、その後、いじめが自殺の一因であるとの見解を示した。あくまで過失の有無にこだわらず、真相解明に誠実な姿勢を示さぬ

教育委員会の対応は、遺族の心情とは大きくかけ離れていた。次の点について伺う。

- ①出雲市のいじめの現状と取り組み。
- ②ネットいじめの現状と対策。
- ③いじめ発見チェックシート(家庭用)の活用。



出雲市立朝山小学校

教育部長

①7月末で、小学校7件、中学校15件です。対策として、子どもたちが自身の力で未然に防止し、よりよい人間関係をつくることを目的にフレンドシップ事業を毎年行っています。②いじめに発展する可能性がある事案が2件、23年度も5件ありました。対策として、各小・中学校

で、ネット利用時の留意点やトラブル・犯罪被害の例、対応方法などの指導をしています。また、文部科学省作成のDVDなどを活用し、出雲警察署とも連携し取り組んでいます。③平成18年作成の、「いじめのサインを見逃さないための家庭用チェックシート」を見直し、再度、保護者に配布し活用して頂きます。



竹島問題にどう取り組むのか

坂根 守

問

日本の領土である竹島は、現在韓国によって不法占拠されている。しかも、今年8月10日には李明博大統領が竹島に上陸した。遺憾なことであり、国の主権を守り領土・領海を守ることに、国が毅然とした態度で臨んでもらいたい。韓国大統領の行動に対して市長の所感は。島根県が制定した2月22日の竹島の日に開催される記念式典へ積極的に市長も出席すべきと思う。また、小中学校での領土教育（特に竹島問題）を韓国以上に徹底的に行う必要があると思うが市長の考えを伺う。

市長

国においては、この竹島上陸について遺憾の意を表し、韓国における

竹島の実効支配を「不法占拠」であるとの見解を示しています。県も、領土問題解決に向けた粘り強い努力を求めるコメントを出されており、私も同感に思います。

2月22日の竹島の日は、過去3か年ともに出雲市議会の会期中であり、代理の職員が参加しています。竹島の日記念式典や東京集会は国内外に向けて領土問題解決のメッセージを発する意義のあるものと考えています。

領土教育は、県が実施しています。「竹島・北方領土問題を考える」中学生作文コンクールやDVDを教材とした小学5年生学習を県と連携し、進めていきたいと考えています。

問

斐川支所では平成25年に税務職員のほとんどが本庁に集約され、支所の空き室がますます多くなり、活性化の低下が心配される。

シルバー人材センターは、JR荘原駅及び久木の作業所をそれぞれ高額の使用料で借用している。また、斐川の中央から離れており高齢者にとっては不便である。支所と離れている社会福祉協議会は、民生委員ほか住民の書類申請・相談も多く、支所福祉担当との密接な連携が求められている。住民の利便性、そして活性化を考えて、シルバー人材センター、社会福祉協議会を支所内の空き室（現在5室）に集約されたい。また、枝葉リサイクルセンターの再開に会員は期待しているがどうか。

健康福祉部長

シルバー人材センターは事務の効率的運用をはかるために、平成26年3月末までに事務部門を本部に集約する予定です。作業所や会員への連絡機能は引き続き斐川地域へ残していく考えです。

社会福祉協議会については、経理労務関係の業務、専門性の高い業務

福祉関係機関の集約で斐川支所の活性化を

保科 孝充



については本所へ集中し、斐川地域に密着した業務は斐川支所を拠点に行っていく考えです。福祉関係業務の集約については、当然市民への利便性、経費的な問題などを総合的に検討、判断したいと思えます。

環境政策調整監  
枝葉をチップにして堆肥化することを限定せずに、それ以外の方法を含めて検討しています。



シルバー人材センター斐川支所（JR 荘原駅構内）



### 中学校の武道必修化に伴う安全な指導体制は出来ているのか

板倉 明弘

**問** 本年4月より中学校1年生、2年生の体育授業の中で柔道が取り入れられた。保護者からは、事故を心配する声寄せられている。中学校でのスポーツ中の柔道の事故死は、10万人あたり2.38人と1位、2位のバスケットボール0.37人に比べ突出しており、頭部外傷による死亡が多い。柔道の良さは、他者と痛みや喜びを分かち合うことを通し、人を大切にする心、礼節・礼法を学ぶところにある。生徒の健全育成にもつながり必修化には期待している。事故は、指導者の油断と配慮のなさに起因する。指導者の研修状況と事故防止対策を伺う。

**教育部長**

柔道での事故防止のため、施設の充実と保健体育教員の指導技術の向上の2点に取り組んでいます。

各校に対し、現有の施設を再点検させ、安全性を向上するために必要な備品などを調査し、昨年度に1120万円をかけて柔道用畳などを整備しました。また、市内の保健体育教員36人のうち33人が柔道の指導経験があり、30人が柔道研修会を



第一中学校柔道部の基礎練習

経験し、指導技術の向上をはかっています。さらに、昨年度と今年度に県教育委員会が実施した「中学校体育教員武道研修会」には、全員が参加しています。



### 住宅リフォーム助成事業の充実による地域経済の活性化を

大場 利信

**問**

団塊の世代をはじめとして住宅リフォーム需要は多い。今年度は、市全体での申込件数は293件、工事金額の見込額は7億4123万6000円、これに対する市からの助成額は2847万5000円で、市からの助成額の26倍もの金額がヒト、モノ、カネの形態でこの圏域を動き回ることとなる。この事業が今年度から適用された斐川地域でも好評である。

この事業は民間のリフォーム需要を誘発し、ひいては地域経済を活性化する効果を持っており、多くの希望者に活用してもらいたいと考えている。このため、年度に200件（総額2000万円）の上限を外す、または引き上げるとともに、年度の上期と下期に分けて実施するなど効果的な運用を求めるがこれについて伺う。

**都市計画調整監**

厳しい経済情勢の中、地域経済の活性化のため、この事業を今後も継続します。なお、22年度までは上限を設けず、応募者全員を対象としていましたが、ゼロベース評価委員会の厳しい評価を受け再構築を図った

ところであり、当分の間は現行の方法で実施することにしたので、ご理解いただきたいと考えます。

平成24年度 住宅リフォーム申込状況

申込期間 平成24年4月20日～5月21日

H24.5.21確定

		申込件数 (件)	下水道関連工事 (件)	助成金額見込 (円)	工事金額見込 (円)
着工予定					
6月	124件	111	11	10,628,000	298,313,365
7月	95件	43	9	4,239,000	107,967,432
8月	31件	11	0	1,078,000	36,760,300
9月	18件	9	1	900,000	17,435,000
10月以降	23件	12	0	1,167,000	26,017,507
未定	2件	58	24	5,690,000	131,814,241
		49	6	4,773,000	122,929,106
合計	293件	293	51	28,475,000	741,236,951



## 学校給食と食育を問う

曾田 盛雄

**問** 現在の給食センターの組織体制と将来の施設整備計画は。

旧平田学校給食センターの処分と跡地の利用計画は。食材の調達と地産地消の取り組みは。食育のまちづくり推進計画とはどのような計画で、学校給食への取り組みも必要と考えるが、現状と将来の計画について伺う。

### 教育長

現在、市が実施主体となり6つの学校給食センターで実施。調理業務は、佐田、湖陵給食センターでは給食会に委託、それ以外の出雲、平田、多伎、斐川については各給食センターで直接行っています。今後は既存の施設の状態を見ながら、施設の統廃合を基本として、適切に給食配送が図られることを前提に、給食対象校の再編も含め施設整備計画を立てていきます。具体的には6給食センターの中でも最も古い斐川給食センターや、小規模給食センターの在り方について検討していく考えです。

2学期からは、学校給食会の統合によって食材の調達組織として充



新しくなった平田学校給食センター

実・強化が図られたところであり、地元食材の需要と供給情報の一元化により、地元産食材の一層の共同購入や計画的な調達が期待できるものと考えています。

### 問

「保育の公的責任が後退し市場原理が導入される」と批判があがっていた「子ども・子育て新システム」は、民主・自民・公明の3党により修正され、成立した。心配されていた市町村の保育実施義務をなくすことや、直接契約の導入、指定制の導入による株式会社への参入、総合子ども園の設置などは見送られ、不安は取り除かれたかに見える。

しかし、実際はそうではなく、現行制度でとられている施設補助方式から利用者補助方式への転換という本質的な部分は変わっており、関係者や保護者が不安に感じている点は払拭されていない。これをどう認識しているのか。



## 子ども・子育て新システムについての認識は

大國 陽介

### 健康福祉部長

修正前の「新システム」は、総合子ども園に全ての保育所を移行させることや、株式会社やNPOの参入を促すこと、保護者とも園との直接契約とすることが盛り込まれ、市場原理の導入に心配の声がありました。修正案については、現行制度の継続が可能となり、懸念されていた点は、おおむね解消されたと認識していますが、ご指摘のとおり基本的な仕組みが依然として残っています。

今後どのように施策を展開していくかが重要であり、国の動向を注視するとともに子どもの最善の利益を基本とした計画策定に取り組んでいく考えです。

### 問

中海・宍道湖圏域の広域連携による出雲市の発展を期待



## 中海・宍道湖圏域を生かした出雲の発展を

板倉 一郎

し、次の点を伺う。①どのような圏域を目指し、その中で、出雲市をど

のように位置づけられるのか伺う。  
 ②災害時の協力体制や、行政の効率化などの取り組みを行うべきと考えるが、その考えを伺う。③出雲市には、雲南市、奥出雲町、飯南町との「出雲の國・斐伊川サミット」が別にあるが、これを統合する考えはないか伺う。

**市長**

①本圏域は、人口66万人を擁し、人口、産業、交通拠点や観光資源などが、西日本の日本海側では最大の集積地であります。本圏域の地域資源や諸外国とのつながりを有効活用



**子ども・若者総合支援事業の現状と課題**

多々納 剛人

**問**

子ども・若者支援協議会の役割と開催状況について伺う。

**教育長**

現在までに3回協議会を開催しました。また研修会や、ひきこもり、不登校などの状況を広く周知するための講演会や、子ども・若者計画の策定協議も行っています。

**問**

子ども若者支援センターでの具体的相談内容や年齢別相談件数、また、その推移について伺う。

し、大きな枠組みでの存在感や情報発信が可能になります。出雲市にとり、観光客の受け入れ増加や、企業誘致や産業交流がさらに進むことを期待しています。②災害時の協力体制は、大変重要であると認識しています。本圏域を含め、鳥取・島根両県の12市による、危機管理事象発生時の相互応援協力について締結する予定です。行政の効率化について、現在、策定中の「市長会振興ビジョン」の中で検討します。③将来の可能性として検討していくべきと認識しています。

**教育長**

相談内容は不登校、登校しぶり、ひきこもり、就労課題、家庭内の問題、心の問題など多岐にわたります。相談件数は、平成21年度が1099件、平成22年度が1585件、平成23年度は1787件と毎年増加しています。年齢別では、平成23年度、面接相談件数（1188件）のうち438件が小中学生。小中学生を除く10代が339件、20代が379件、30代が31件です。

**問**

子ども・若者計画に定められる行動計画策定後、現在ある行動計画はどうなるのか伺う。

**教育長**

子ども・若者計画は策定中であり、現行の行動計画や教育政策審議



**少子化対策を問う**

西村 亮

**問**

出雲市の少子化対策の中で、結婚対策は近隣の市町と温度差があり、誠に残念で、今後重要施策として重点的に取り組む必要がある。出雲市は、縁結びの出雲大社・出雲縁結び空港など、縁結びと深い関係にあり、このことは、重要課題と考える。

縁結びボランティア（はびこ会）を始め、各種団体と連携、積極的な取り組みが必要不可欠と考える。今後の方針を伺う。

**健康福祉部長**

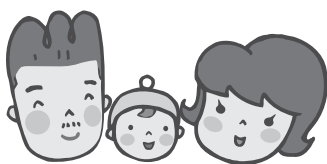
結婚は個人的な問題であることから、これまで市として具体的な施策は行っていませんでした。しかし、少子高齢化が進行する地域で未婚化・晩婚化が進むと、市民生活や、地域活動に与える影響は大きく、まちづくり懇談会でも、多くの地域で

会、前文教厚生常任委員会の提言を踏まえて策定をする予定です。策定後は、現在の行動計画については見直しを行い、各年度の事業計画を策定し全庁的な取り組みとします。

市において出会いの場づくりに対する要望が出されています。市としてもこうした状況を踏まえ、出会いの場イベントなどの取り組みが必要と考えます。

**黒目副市長**

これまで外部団体に努力いただいたが、はつきりと市の方針として、戦略プロジェクトの一つに掲げ、担当部署を決め、しっかりとこの問題に対処していきたいと考えております。





「選択校区制」早期の検証を

萬代 輝正

**問** 制度導入後13年が経過した「選択校区制」については、必ずしも地域全体の納得の上で施行されたのではないとの認識である。経過や目的について振り返り、未来ある子どもたちのために早期の検証の必要性を問う。

あること。③国における規制緩和の推進や、当時の文科省の通知による通学区域制度の弾力的運用に沿って、学校選択の機会の増大を図る必要があること。この3つを基本的なねらいとしたものです。

**教育長**

制度導入の基本的なねらいは、

①国道9号バイパスなどの都市基盤が整備され、地域を取り巻く環境が変化していく中で子どもたちの通学の安全性・利便性に配慮したこと。

②少子化や都市化の進展により、児童・生徒の増減が著しい地域について、学校の適正規模化を図る必要が

教育委員会としては、制度の定着度合いや課題の抽出など、調査する時期にきているのではないかと考えています。その結果によっては制度の見直しなども検討していく必要性があると考えています。

**市長**

なるべく早く調査を行い、制度を検証し、長期的な方向を明確にする必要があります。



消防団再編計画での  
施設、設備、装備の内容を問う

狩野 正文

**問** 消防団員・組織の平準化や設備の高機能化、消防コミュニケーション施設の整備内容とその進捗状況を問う。

**消防長**

合併時、各地域の部隊編成や車両・施設の整備、災害時の出動体制などが異なることから、統一を図り

統制のとれた団活動ができるよう再編を行いました。本年度から5か年計画で年次的に調整を行い、現行の45分団にある部数152部を135部とし、団員定数1993人を1844人にする計画です。

機動力の強化については、現有の手引き式台車に積載された小型動力ポンプを軽自動車に積載します。併せて車両の格納庫を整備します。

消防コミュニケーション施設につきましては、未整備の12分団に1棟ずつ配置します。

**問** 消防団が現に使用しているヘルメット、手袋、長靴の装備を安全確保の点から検討し、安全で機動力が発揮できる用具の支給をすべきではないか。

**消防長**

ヘルメットと手袋につきましては、初動時に出動する団員5〜7人分を常設しています。長靴につきましては、現在、個人対応としていますが、今後、釘抜き防止用の中敷板の配備を行い、安全対策を講じていきます。



いりすの丘（農業公園）の活用は  
今後どのように考えているか

井上 恵夫

**問**

平成元年、湯の川ヘルシータウンとして地域活性化事業が計画され、(株)ファームのコンセプト

によるいりすの丘公園として平成13年にオープンしたが、平成20年に(株)ファームは経営破綻し撤退した。公園面積26haの広大な土地を含む資産を雇用の場として活用すべきである。国策として6次化ファンド法が施行されたが、行政と民間の協働で出雲斐川の農業の在り方を実現する絶好のチャンスである。そのモデルケースとして出雲いりすの丘を再生

するプロジェクトチームの構成をどのように考えているか伺う。

**産業観光部長**

いりすの丘公園は、都市と農村との交流を目的として地域農業の活性化を目指した施設で、湯の川温泉を活用した住民の健康づくりの拠点として、観光資源と有機的にリンクする地域全体の複合施設です。今後の活用については、この状況を踏まえ、庁内に検討チームを立ち上げ、今年中に課題・問題点の把握や民間事業者の参入の可能性など調査検討

し、議会や地域の意見を求め、計画をまとめます。

堺田副市長

できるだけフリーハンドでいろいろ

るな可能性を検証して、しっかりと幅広く予断を持たずに利用の可能性を追求していきたいと思えます。



「いじめ」が学校現場でなぜ隠へいされるか

原 隆利

問 教育的配慮から、いわゆる「悪者を作らない」ことがいじめの本質を見逃しているのではない

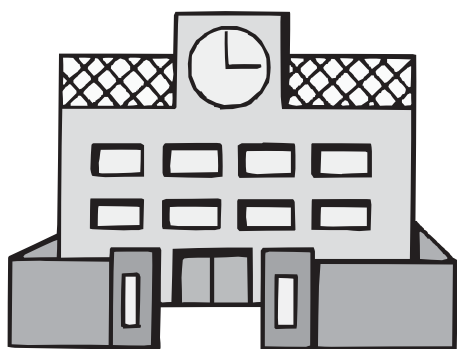
か。教師が教育現場を、特殊な教育的配慮が必要な教員特有の世界観に包まれた社会であることに気が付いていないのではないか。そのことが大津市の事件など一連のいじめの根幹にあるのではないか。

教育長

いじめ対策の基本は未然防止と早期発見、早期対応です。日頃の教職員による生徒の観察や生活指導などを中心に校長のリーダーシップのもと、校内挙げて取り組んでいくと共に、児童生徒自身のより良い仲間づくりを目指した、フレンドシップ授業の充実に取り組んでいきます。

質問の中で教員社会を特殊社会と表現され、その社会は隠へい体質であると言われたが、私はそのように理解していません。出雲市の教職員

は、いじめをはじめとするさまざまな課題に、精一杯、日夜寝食を忘れないながら一生懸命対応しています。一般論か特定の出雲市の学校を指しての指摘かはわかりませんが、私はそのようなとらえ方はしていません。



長岡市長さんて、どんな方、こんな人

木佐 宏

問

阿國座建設反対のワンフレーズを争点に謀略で誕生した長岡市政、長岡後援会幹部と特定利権企業に操られ市政、今、市民が試されている。市長のみならず議員も市民も一緒に考えていたきたい。民主主義の否定、住民意識との乖離に羞恥心のかけらも見られない長岡さんでは、新制出雲市を疲弊に追い込む。長岡秀人さんには、一日も早く身を引いていただきたいと心底痛感している。来年の市長選に立候補するつもりなのか。

仕事が進まなくても怒鳴られる事も全く無い、市民の訴えを長期不適切対処で放置事例は山ほどある。それでも退職金数千万円を得る。長岡さんはこのような職員を公務に精通した即戦力として再採用と切り返すが、私は、地位利用の選挙事前運動と従前から厳しく指弾している。

市長

前段の部分は答弁は不要という話でした。一般質問初日の山代議員の質問にお答えしたとおりです。

後段の部分、色々おっしゃいましたが、市職員の退職後の再雇用につ

いて、市の直営公営施設の継続的、安定的な運営と市民サービスの確保を図るため、管理的業務において、即戦力として何人かの旧職員を再採用しています。



児童生徒10人程度通路へ2か年で1億数千万円の不適切事業





### 少子化時代をどう乗り越えるか 松村 豪人

**問** 少子高齢化が叫ばれて久しいが、私達の世代の責務として、この問題に道筋を付け、次の世代に引き継ぐことができる出雲市を築きたい。本市の少子化の現状についてはどうか。また、現在までの子育て支援策の投資額はいくらずで、効果のほどはどうであったか。

「子育てをするなら出雲市で」今こそ出雲ブランドの子育てを。

#### 健康福祉部長

本市における毎年の出生数は、全国的には減少傾向にあるなかで、合併した平成17年度以降、年間1500人から1600人で推移し

ており、ほぼ横ばいの状況です。

子育て関連事業費の決算額は、平成21年度が88億円、平成22年度が106億円、平成23年度が117億円です。子育て世代を対象としたアンケートでは、妊娠中からの支援や保育のサービス、また地域の子育て支援、子育て相談の場所や機会があることで評価を受けています。

「子育てするなら出雲市で」ということで、政策的な取り組みを進めるうえで、住民ニーズを把握しながら、必要性の高いところから事業展開を進めていきます。



### 沿岸漁業の振興を求める 小村 吉一

**問** 平成10年から10年間に、本市の漁業者は3分の1に、漁獲高も大幅に減っている。一方、漁業者の年齢も60歳以上が7割と高齢化

が著しい。この現状をどのように思っているのか伺う。

#### 農林水産調整監

非常に方向としてまずいと思っ

います。今後、これといった考えは持ち合わせていませんが、県やJFしほねなどと連携しながら、何らかの方向を試みていきたいと思っています。

#### 問

本市の水産振興課の職員は5名、その内ハード事業の担当が3名、ソフト事業の担当が2名である。これは逆であり、職員の量と質を拡充すべきと考える。また、本市の漁業予算は、当初予算で1億2000万円余りであり、全予算の0.16%にすぎない。中でも今求められているソフト事業の予算は、1800万円だけである。この現状を市長はどう考えているのか伺う。

#### 市長

漁業は将来の重要な業種だと思っています。人員などの配置についても、いろいろな角度から考えさせていただきたいと思いますが、問題は、将来の本市における漁業をどう取り組んでいくかということをきつ



### 斐川地域の公民館の コミュニティセンター化を伺う 井原 優

**問** 斐川地域の各公民館は、平成25年度のコミュニティセン

ター化に向けて、整備が進んでいる

ちりと見定め、それに必要な体制・予算を考えていきたいと思っています。



小伊津港とその集落

が、課題、問題点もあるが、どうか。

①4人の職員では、本庁から一部行政事務、広報紙の仕分け・配達、行



コミュニティセンター化する荏原公民館

政関連事務などの業務量が多くなり、心配である。世帯数の多い地域の公民館では、補助員の増員は考えられないか。

②土曜、日曜の公民館の市民の利用と非常時の管理は。

③各種団体の事務局業務のあり方は。

④公民館費のあり方（自治会で1戸

あたり1000円徴収)。

⑤公民館行事でのバス利用の変更はあるか。

**地域振興調整監**

①コミュニティセンター化した場合の業務の内容、職員体制は、広報紙の仕分け・配達、地域情報の収集の関連事務、自治協会の連携、災害対策本部業務など、地域の拠点としての業務が加わることに なります。職員を対象にした事前研修を重ねスムーズな制度移行ができるよう鋭意準備を進めています。

②土日、祝日は貸し館方式で、4名の職員でスタートします。利用者に鍵を貸し、終わったら鍵をしめる、警備員は置かない方が現実的です。

③各団体の事務局業務のありかたは、話し合いで、実情に応じて進めていただきます。

④公民館費は、自治協会で、取り扱いを決めていただくと考えています。

⑤バス利用については、まちづくりの視点とした事業の中で検討していきます。



**築地松（屋敷林）と散居集落の保全対策を早急に**

伊藤 繁満

**問**

築地松（屋敷林）の現状と助成制度についての充実強化策を求める。出雲平野において全国に誇れるもの、世界的に出雲地方にしかないものとして歴史、文化を創り出してきた独特な農村景観を、子々孫々に伝え残していくことが現在を生かされている私たちの務めではないかと考えている。一層の保全活動の充実強化策を伺う。また、小中学校の児童、生徒に対し学校での取り組みについても伺う。

**都市計画調整監**

築地松の実態調査は平成11年度以降、調査を行っておらず所有戸数は約3000戸、松の本数は約2万本と推定しています。

助成制度は、剪定、伐倒、薬剤散布、樹幹注入など分野ごとに3万円から6万円を限度とし、平成23年度から伐倒木、枝の処分費を助成対象としています。また、小学校3、4年生の社会科の地域学習、ふるさと学習や校外活動を通じて学習活動を行い、中学校卒業前の生徒は、毎年、ボランティアガイド宅で自主学習しています。



築地松と散居村（斐川町）

出雲地方独特の散居景観を織りなす築地松は、出雲市の貴重な文化的景観で、後世に残すべく大切なものです。島根県も同様な認識にあり、さらに島根県と連携を深め、住民、協定者の皆さまと共々に築地松の保全に努めていく考えです。



## 出雲市立小中学校再編 計画を伺う

荒木 孝

**問** 12月議会に続き伺う。昨年、再編計画が示された。関係する市民への説明会、パブリックコメントが募集された。関係市民の学校再編に対する意見はいかがであったのか伺う。

### 教育長

再編計画公表以降、全市で57回、佐田地域では5回の説明会を開催しました。パブリックコメントは84件、こんなに多くのご意見があるのはあまり例が無く、内訳は、賛成14件、反対70件でした。佐田地域をはじめ、関係する地域の意見は、「子どもたちの通学は、今でも長距離であり、統合でさらに子どもたちの負担増を懸念する」など総じて厳しい意見でした。教育委員会では、通学距離、通学時間などについて再度検討すべきと考えています。

### 問

9月4日の新聞報道は、私の持つ情報、資料と全く同じである。「窪田小はじめ3校は地元意見を考慮し除外」と報道した。関係者の皆さんもひと安堵、しかし「地域の十分な実態把握もしない計画を押し付け



「再編計画から除外」出雲市立窪田小学校

た教育委員会の信頼は地に落ちた。素直に喜べない」と厳しい意見だ。

### 教育長

今後、ルールに沿って説明をします。新聞報道については、あたかも決まったかのごとくの報道であれば、不本意です。再編計画を作る際は、賛成、反対いずれの意見も尊重し、参考にします。



## 急がれる、空き家対策を

飯塚 俊之

### 問

近年、全国的に高齢化や経済的事情によって空き家は増加している。50を超える自治体では、「空き家対策条例」を制定し、その対策に取り組んでいる。そこで、次の点を伺う。

### ① 空き家の現状

### ② 今後の空き家対策

### 防災安全管理監

①平成20年に実施した住宅土地統計調査から、市内の空き家数は約7800軒と考えています。このうち賃貸目的のものを除外した空き家が2720軒、さらにそのうちの620軒は何らかの形で破損がある状態です。空き家に関する苦情は、平成22年度は4件、平成23年度は2件でした。

②空き家数は増加の傾向にあり、近い将来、行政課題となっていくことが考えられます。何らかの方法で実態調査をし、条例化も含め、適時適切に対応していきたいと考えています。

### 問

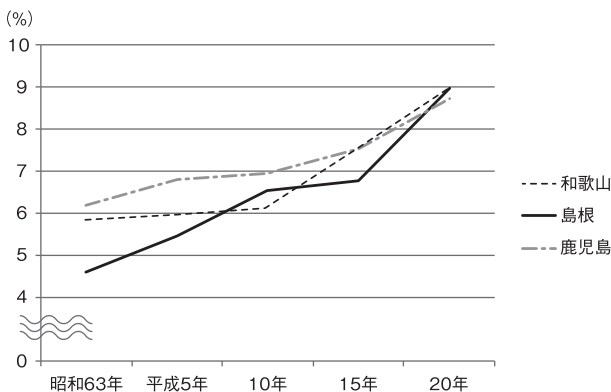
空き家問題は、近い将来の行政課題ではなく、すでに顕在化している。苦情件数が少ないの

は、担当窓口が一本化されていないことに原因があると考えます。早急に正確な実態把握と、担当窓口の設置を求める。

### 市長

今一度、全市的な実態を把握したうえで、今後の対策を考えていきます。

直接的な担当窓口を早く決めていきたいと思っています。



全国的に空き家率の高い3県の推移 (総務省統計局「住宅・土地統計調査」)





壁に新潟県産の杉が使われている中之島体育館

# ビジョンを示した施設整備

## 環境経済委員会

8月1日～3日

新潟県長岡市は、日本海側という本市と同様な地理的環境の中ではあるが、さまざまな面で、県あるいは国との強いパイプを持ちながら政策を展開している。

スポーツ施設については「長岡ニュータウン運動公園」の整備を、長年にわたるスポーツ拠点構想の中で、日本がサッカーのワールドカップ誘致に動いているのと並行し、

県との役割分担の中で、出場国のキャンプ地としての機能を備える施設整備を行っている。自治体の財政が先細りする中で、しっかりとした「夢」のあるビジョンを描き、維持管理コストの低減と雪国特有の利制限解消を実現している。

(萬代輝正 記)

## 採決の結果

番号	議案名	審議結果	賛成	反対
平成24年度(2012)第3回定例会				
諮第2号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(浅田憲三氏、松田周邦氏、園山恵子氏、岩崎一氏、三島幸延氏)	同意	36	0
承第5号	専決処分の承認について(平成24年度(2012)出雲市一般会計第2回補正予算)	承認	36	0
議第17号	平成24年度(2012)出雲市一般会計第3回補正予算	原案可決	32	4
議第18号	平成24年度(2012)出雲市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算	原案可決	36	0
議第19号	平成24年度(2012)出雲市介護保険事業特別会計第2回補正予算	原案可決	36	0
議第20号	平成24年度(2012)出雲市下水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	35	1
議第21号	平成24年度(2012)出雲市風力発電事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第22号	平成24年度(2012)出雲市水道事業会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第23号	出雲市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第24号	出雲市スポーツ施設条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第25号	出雲市休日診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第26号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第27号	出雲市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第28号	出雲市災害対策本部条例及び出雲市防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第29号	出雲市横見埋没林公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	36	0
議第30号	備品の取得について(消防ポンプ自動車)	原案可決	36	0
議第31号	市道路線の廃止について	原案可決	36	0
議第32号	市道路線の認定について	原案可決	36	0
認第1号	平成23年度(2011)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	29	7
認第2号	平成23年度(2011)出雲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	3

番 号	大場利信	井原優	伊藤繁満	保科孝充	井上恵夫	多々納弘	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐宏	西村亮	小村吉一	大国陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	広戸恭一	直良昌幸	坂根守	板倉明弘	勝部順子	米山広志	山代裕始	原隆利	多久和康司	荒木孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	宮本享			
平成24年度(2012)第3回定例会																																									
認第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第5号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第6号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第7号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第8号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第18号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	除斥	○	○	○	除斥	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	
請願第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第8号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第5号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第6号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第7号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書第3号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書第4号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書(修正案)第5号	●	○	-	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
意見書(原案)第5号	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【継続審査中の請願・陳情】																																									
平成23年度陳情第16号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第1号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対、-：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対	
平成24年度(2012)第3回定例会					
認第3号	平成23年度(2011)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第4号	平成23年度(2011)出雲市診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第5号	平成23年度(2011)出雲市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	32	4	
認第6号	平成23年度(2011)出雲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	33	3	
認第7号	平成23年度(2011)出雲市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	33	3	
認第8号	平成23年度(2011)出雲市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	33	3	
認第9号	平成23年度(2011)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第10号	平成23年度(2011)出雲市浄化槽設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第11号	平成23年度(2011)出雲市風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第12号	平成23年度(2011)出雲市ご縁ネット事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第13号	平成23年度(2011)出雲市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第14号	平成23年度(2011)出雲市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第15号	平成23年度(2011)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第16号	平成23年度(2011)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第17号	平成23年度(2011)出雲市廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	36	0	
認第18号	平成23年度(2011)出雲市水道事業会計決算認定について	認 定	33	3	
認第19号	平成23年度(2011)出雲市病院事業会計決算認定について	認 定	36	0	
認第20号	平成23年度(2011)出雲地区ふるさと市町村圏協議会会計決算認定について	認 定	36	0	
認第21号	平成23年度(2011)出雲市・斐川町南神立橋区間管理協議会会計決算認定について	認 定	36	0	
認第22号	平成23年度(2011)出雲市及び斐川町斐伊川用水対策協議会会計決算認定について	認 定	36	0	
請願第5号	2013年度(平成25年度)私立認可保育所関係予算等についての請願	採 択	24	1	
請願第6号	協同組合出雲ショッピングセンター「デパートパラオ」の跡地・空き店舗活用による中心市街地再生支援の強化を求める請願	採 択	36	0	
請願第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	採 択	36	0	
請願第8号	「子ども・子育て新システム」に反対し、子育て支援の充実を求める請願	不 採 択	33	3	
陳情第3号	農業用水並びに防火用水の確保に関する陳情	採 択	36	0	
陳情第4号	県道木次直江停車場線の上出西道路の拡幅に関する陳情	採 択	36	0	
陳情第5号	第3子保育料の無料化の現行制度での継続と第2子保育料の半額化を求める陳情	趣旨採択	33	3	
陳情第6号	乳幼児等医療費助成制度拡充を求める陳情	趣旨採択	33	3	
陳情第7号	現行の公的保育制度を堅持し子育て支援の充実を求める陳情	不 採 択	33	3	
陳情第8号	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	採 択	34	0	
陳情第9号	市道今市川跡日下線荻苅交差点付近の改良整備促進についての陳情	採 択	36	0	
意見書第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	35	0	
意見書第4号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	原案可決	35	0	
意見書第5号	竹島の領土権確立に向けた対策の強化を求める意見書	(修正案)	否 決	3	32
		(原 案)	原案可決	32	3
【継続審査中の請願・陳情】					
平成23年度 陳情第16号	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情	継続審査	30	6	
陳情第1号	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情	継続審査	32	4	
陳情第2号	認知症対応型共同生活介護事業所における低所得者への負担軽減事業の実施に関する陳情	採 択	34	0	

